

次期下水道事業経営計画(案)について

1. 計画の概要

(1) 計画期間

2020年度～2029年度（10年間）

(2) 計画の位置づけ

- ・長期計画基本構想「こうべ下水道みらい2025」の実施計画
- ・総務省より策定を求められている「経営戦略」として、位置づける。

(3) 計画の構成

| 章立て | | 概要 |
|-----|---------------------|--|
| 1章 | 改定の背景と目的 | 背景と目的、計画の位置づけ、計画期間 |
| 2章 | 現状と課題 | 社会的情勢、下水道事業に関する国の動き 神戸市における市政の動き 神戸市における下水道事業の取り組み、現状と課題 |
| 3章 | 神戸市下水道事業 経営計画の評価 | 現行の中期経営計画における 事業および経営状況の進捗を整理 |
| 4章 | 神戸市下水道事業が 目指す将来像 | 目指すべき将来像 |
| 5章 | 経営計画の基本方針 | 将来像の実現に向けた基本方針 基本方針に基づく施策、取組 |
| 6章 | 経営計画の進捗管理 | 計画のフォローアップ、管理指標 |

2. 経営計画の基本方針（第5章）

- ・計画の基本方針と施策、具体的な取組をまとめている。
- ・それぞれの詳細については、2ページを参照。

3. 経営計画の進捗管理（第6章）

- ・計画期間内における事業や経営に関して、PDCAサイクルにより、フォローアップを行う。
- ・PDCAサイクルおよび管理指標については、4ページを参照。

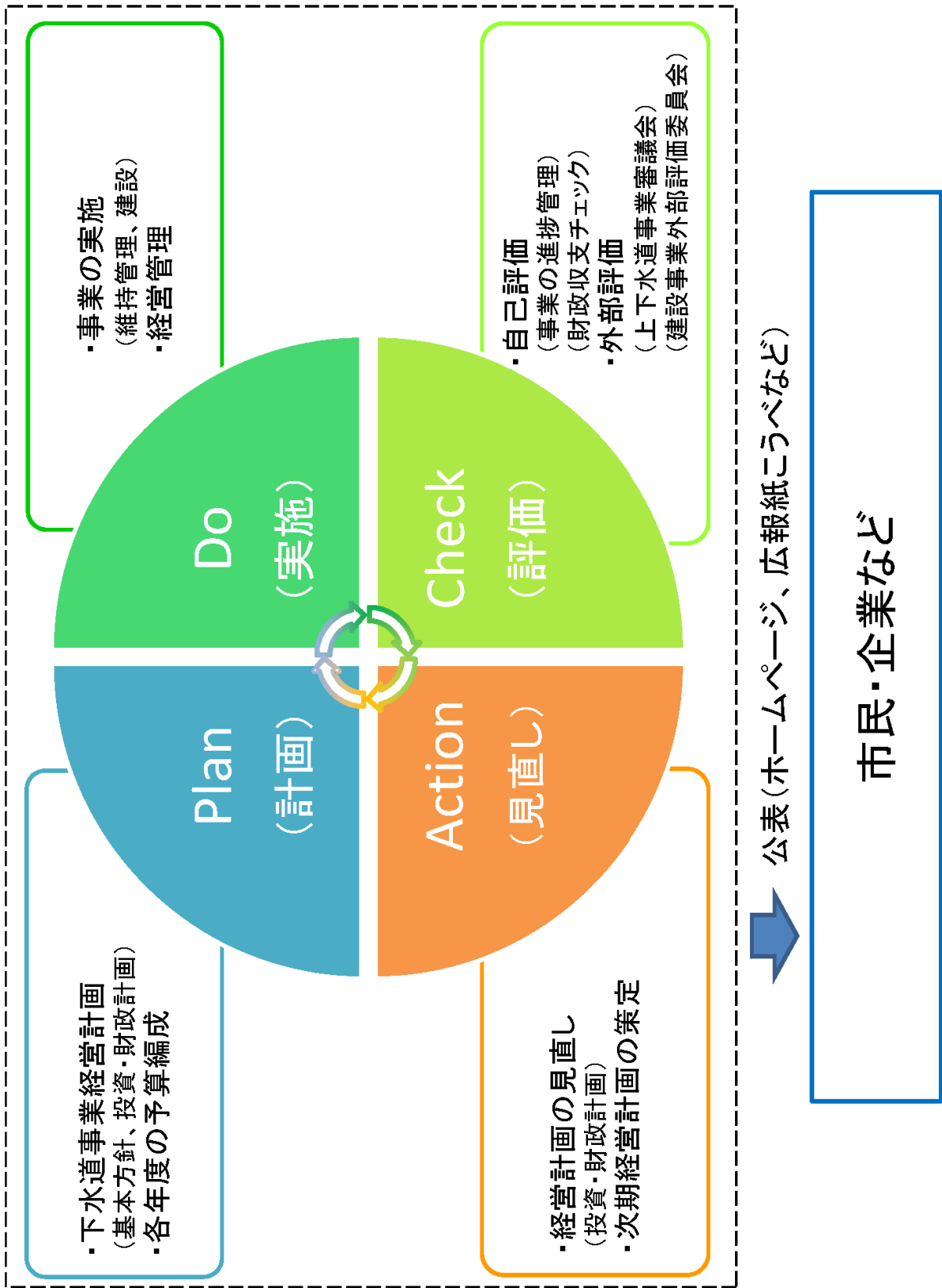
○第5章（経営計画の基本方針）の概要（1 / 2）

| 基本方針 | 目標 | 施策 | 具体的な取組 |
|-------------------------------|---|--|--|
| <p>快適な市民生活と社会活動を支えます</p> | <p>安心して使用できる下水道を維持し、市民生活や社会活動を支えます。</p> | <p>ストックマネジメント計画の策定</p> <p>管きよの適切な維持管理、更新</p> <p>下水排除機能の持続</p> <p>汚水処理システムの再編</p> | <p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最適な維持管理・改築更新の事業量・事業費算定 管きよの点検・調査および修繕・改築 <ul style="list-style-type: none"> ・管きよの点検・調査結果に基づく修繕・改築の実施 ・不明水対策の実施 管きよの改築更新 <ul style="list-style-type: none"> ・管更生工法による改築更新の実施 施設の点検・調査および補修・修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・処理場・ポンプ場の点検・調査、補修・修繕の実施 施設の改築更新 <ul style="list-style-type: none"> ・処理場・ポンプ場設備の改築更新の実施 ・西部処理場、ポータライランド処理場の改築更新の実施 ・処理場のコンパクト化、ポンプ場廃止の検討 |
| <p>災害に備える安全・安心なまちづくりを進めます</p> | <p>地震が発生しても使用できる下水道を目指します。</p> <p>床上浸水や道路冠水による長時間の通行規制を防ぎます。</p> <p>豪雨時の避難に役立つ情報を発信します。</p> <p>非常時でも、下水道サービスを提供できる体制を目指します。</p> | <p>下水道施設の耐震・耐津波化</p> <p>浸水対策</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・管路および処理場・ポンプ場の耐震診断と耐震補強などの実施 ・改築更新時における処理場・ポンプ場の設備の耐水化 <p>継続した施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東川崎地区、西河原地区などでの浸水対策の実施 ・浸水原因を分析し、関係機関と連携した浸水被害の解消 ・高潮の影響で破損した圧力管まよの耐圧化 ・既設ポンプ場の排水能力向上 <p>浸水に対する情報発信の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの定期的な更新とその発信 <ul style="list-style-type: none"> ・非常時対応体制の構築に関する取り組みの実施 |

○第5章（経営計画の基本方針）の概要（2/2）

| 基本方針 | 目標 | 施策 | 具体的な取組 |
|---|---|-------------------|--|
| <p>良好な水環境と循環型社会の実現に貢献します</p> | <p>河川や海の水質保全を通して、自然豊かな神戸のまちに貢献します。</p> | <p>良好な水環境の実現</p> | <p>水質指導・規制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業場への立入検査、排水管理責任者への講習の実施 <p>水質管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質管理計画に基づき、放流水質と経費の適正管理の実施 |
| <p>資源の有効利用や温室効果ガスの抑制などを通して、持続可能な暮らしと社会に貢献します。</p> | <p>資源の有効利用や温室効果ガスの抑制などを通して、持続可能な暮らしと社会に貢献します。</p> | <p>循環型社会の実現</p> | <p>下水道資源の有効利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消化ガスや焼却灰など下水処理の過程で発生する資源の有効利用 <p>地球温暖化対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器への更新、再生可能エネルギーの利活用の実施 |
| <p>下水道の見える化に取り組みます</p> | <p>安心で快適な下水道を体感し、理解していただけるよう取り組みます。</p> | <p>身近に感じる下水道</p> | <p>体験する・学べる広報の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水環境フェア、「こっぺらバス」を活用した広報の実施 <p>市民との協働による広報の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アリアサポーター」の取組推進 <p>多角的な情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどを活用した情報発信の実施 ・市民用展示施設の利用促進 |
| <p>下水道が保有する資産やノウハウで豊かな生活・社会に貢献します。</p> | <p>下水道が保有する資産やノウハウで豊かな生活・社会に貢献します。</p> | <p>地域に貢献する下水道</p> | <p>下水道用地の利活用による地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道用地の利活用により、地域の活性化に貢献 <p>地元企業等との連携による国際協力事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水インフラ事業（国際展開）を通じた地元企業の支援 |
| <p>安定した下水道サービスを提供します</p> | <p>将来も安全・安心・快適な下水道サービスを提供します。</p> | <p>安定した経営</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・経営の見直し（使用料収入や諸経費などの見直し） ・財政計画の見直し（単年度収支、経費回収率） ・研修の実施、下水道サービスの利便性向上、新技術の導入 |

○第6章 (経営計画の進捗管理) PDCAサイクルによる計画のフォローアップ



○第6章（経営計画の進捗管理） 管理指標および進捗目標の一覧

| 基本方針 | 施策 | 管理指標 | 具体的な内容 | 進捗目標 (H32～41) |
|--------------------------------|--|---|---------------------------------|---|
| 快適な市民生活と 社会活動を支えます | 管さよの適切な 維持管理、更新 | ☆管さよの点検・調査延長 | 目視点検・カメラ調査などの実施 | 700km |
| | | 汚水管さよ 雨水管さよ | | 400km |
| 災害に備える 安全・安心な まちづくりを進めます | 下水排除機能 の持続 | ☆汚水管さよ（汚水）の改築延長 | 管更生工法などによる改築の実施 | 450km |
| | | ☆処理場の改築更新 | | 施設の建設、設備の設置など |
| | 下水道施設の 耐震・耐津波化 | 西部処理場（北系）、垂水処理場（東系） PI処理場の改築更新 | 緊急輸送路(国道)の横断部 災害時における拠点施設の下流 | |
| | | ☆優先的に実施すべき管さよの耐震化 | | 揚排水・簡易沈殿・消毒機能の確保 ※汚水・雨水ポンプ場は揚排水機能の確保 |
| 浸水対策 | ☆地震時における最低限の機能確保※ 処理場 汚水ポンプ場 雨水ポンプ場 | 継続的な事業実施による床上・床下浸水の解消 最新の設計基準を適用したポンプの改築更新 | 5地区 4箇所 | |
| | ☆浸水対策エリアにおける家屋被害の解消 | | 平均100%以上 | |
| 安定した 下水道サービスを 提供します | 安定した経営 | ☆経費回収率 ☆単年度収支 | 収益的収支の黒字 | 毎年黒字 |

※・・・耐震性の確保、一部系列での確保を含む。